

2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年10月26日

上場会社名 日東電工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6988 URL <https://www.nitto.com/jp/ja/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高崎 秀雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務本部長 (氏名) 伊勢山 恭弘 TEL 06-7632-2101
 四半期報告書提出予定日 2021年10月28日 配当支払開始予定日 2021年11月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	425,951	19.1	72,808	71.8	72,648	73.7	52,189	70.7	52,138	70.7	55,584	96.3
2021年3月期第2四半期	357,737	△5.4	42,367	3.1	41,822	2.0	30,573	4.8	30,544	4.8	28,322	110.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	352.32	352.14
2021年3月期第2四半期	204.73	204.59

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,020,799	757,552	756,702	74.1
2021年3月期	965,901	716,686	715,868	74.1

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2022年3月期	—	110.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	110.00	220.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	845,000	11.0	126,000	34.3	126,000	35.0	90,000	28.0	90,000	28.1	608.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	149,758,428株	2021年3月期	149,758,428株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,756,129株	2021年3月期	1,792,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	147,986,175株	2021年3月期2Q	149,194,091株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

第一部 (参考) 2022年3月期第2四半期 (3ヶ月) の連結業績
(2021年7月1日～2021年9月30日)

(百万円未満切捨て)
(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期 第2四半期	222,235	14.3	43,088	72.9	43,004	74.9	31,319	69.1	31,293	69.1	32,868	93.2
2021年3月期 第2四半期	194,427	△3.3	24,925	△5.0	24,592	△6.0	18,520	△1.8	18,506	△1.8	17,014	17.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	211.44	211.34
2021年3月期第2四半期	125.07	125.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)における経済環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するワクチン普及により経済活動の再開が進んだ一方で、変異株の拡大、半導体材料の不足や原材料価格の高騰などが見られ、先行きの不透明感は依然として継続しています。

このような環境の中、当社グループの主要な市場においては、ノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムが引き続き堅調に推移し、スマートフォン用の製品は、OLED用光学フィルムや組み立て用部材並びに高精度基板の需要が伸長しました。また、自動車材料及び一般工業部材のCOVID-19影響からの回復や半導体関連部材の需要の増加がみられました。核酸医薬市場においては、COVID-19のワクチン開発が急ピッチで進んでおり、当社グループにおける受託製造及び関連部材の需要が高まっています。加えて、核酸医薬の創薬においてライセンス契約に基づくマイルストーンを達成しました。

当社グループにおけるCOVID-19への対応においては、すべての人の健康と安全を最優先に、感染拡大の防止とともに、お客様への供給継続に向けて取り組んでおります。引き続き、お客様への製品・サービスの提供に支障が生じないように、最大限努力いたします。

以上の結果、売上収益は前第2四半期連結累計期間と比較し19.1%増(以下の比較はこれに同じ)の425,951百万円となりました。また、営業利益は71.8%増の72,808百万円、税引前四半期利益は73.7%増の72,648百万円、四半期利益は70.7%増の52,189百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は70.7%増の52,138百万円となりました。

セグメント別の業績概況

① インダストリアルテープ

基盤機能材料は、前第2四半期連結累計期間に対して伸長しました。ハイエンドスマートフォンの生産が増加し、組み立て用部材の需要が伸長しました。また、テレワークの拡大などを背景にタブレット端末、サーバーなどの電子機器に使用されるセラミックコンデンサーや半導体の需要が拡大し、それらの生産における工程用部材も伸長しました。加えて、自動車材料や一般工業用部材、金属用保護材料などが、前第2四半期連結累計期間におけるCOVID-19による影響から回復し、需要が増加しました。

以上の結果、売上収益は165,023百万円(24.1%増)、営業利益は20,866百万円(146.3%増)となりました。

② オプトロニクス

情報機能材料は、前第2四半期連結累計期間に対して伸長しました。テレワークの拡大などを背景としたノートパソコン、タブレット端末用光学フィルムの需要が、引き続き堅調に推移しました。また、スマートフォン向けのOLEDディスプレイ用光学フィルムの需要が増加しました。TV向け製品は、当社グループの推進する知的財産戦略の一環として、協業先への技術供与によるロイヤリティ収益を計上しました。

プリント回路は、前第2四半期連結累計期間に対して伸長しました。高精度基板は採用機種が拡大し、また、ハイエンドスマートフォンの生産が本格期に入り需要が大きく伸長しました。ハードディスクドライブにおいては、データセンター用途の堅調な需要に加えて、前第2四半期連結累計期間におけるCOVID-19による影響の反動があり増加しました。

以上の結果、売上収益は229,973百万円(10.7%増)、営業利益は48,087百万円(27.3%増)となりました。

③ ライフサイエンス

ライフサイエンスは、前第2四半期連結累計期間に対して伸長しました。世界的にCOVID-19ワクチンが不足している中、新たなワクチン開発が加速しており、当社グループは核酸受託製造においてCOVID-19ワクチンに使用される核酸アジュバント(核酸免疫補強材)の供給を開始しました。また、市場の拡大を背景に、核酸合成用ポリマービーズ(NittoPhaseTM)の需要が拡大し、業績に寄与しました。医療用衛生材料の需要はCOVID-19による影響から緩やかな回復が見られました。

核酸医薬の創薬においては、肝線維症・肝硬変を対象とした製剤の独占ライセンス契約に基づく、所定のマイルストーンを達成しました。また、肺線維症及び難治性の癌治療薬の治験に、引き続き取り組んでおります。

以上の結果、売上収益は25,444百万円(84.4%増)、営業利益は6,384百万円(前年同四半期は営業損失1,315百万円)となりました。

④ その他

メンブレン（高分子分離膜）は、前第2四半期連結累計期間に対して伸長しました。各種産業用途やエネルギー分野などにおける需要が回復しました。なお、当セグメントには未だ十分な売上収益を伴っていない新規事業が含まれております。

以上の結果、売上収益は13,998百万円（18.6%増）、営業損失は2,038百万円（前年同四半期は営業損失2,364百万円）となりました。

(参考) セグメント別の状況 (6ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	売上収益	132,973	165,023	124.1
	営業利益	8,471	20,866	246.3
オプトロニクス	情報機能材料	183,783	185,076	100.7
	プリント回路	23,930	44,897	187.6
	計	207,714	229,973	110.7
	営業利益	37,768	48,087	127.3
ライフサイエンス	売上収益	13,799	25,444	184.4
	営業利益	△1,315	6,384	—
その他	売上収益	11,800	13,998	118.6
	営業利益	△2,364	△2,038	—
全社・消去	売上収益	△8,549	△8,489	—
	営業利益	△191	△490	—
合計	売上収益	357,737	425,951	119.1
	営業利益	42,367	72,808	171.8

※ 従来「インダストリアルテープ」の内訳として、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」に分けて記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」を統合し、「インダストリアルテープ」として記載しております。前第2四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (3ヶ月)

(単位: 百万円 比率: %)

		前第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	前年同期比
		売上収益	売上収益	
インダストリアルテープ	売上収益	74,439	82,481	110.8
	営業利益	6,820	10,148	148.8
オプトロニクス	情報機能材料	98,001	95,912	97.9
	プリント回路	13,539	27,333	201.9
	計	111,541	123,246	110.5
	営業利益	20,051	30,771	153.5
ライフサイエンス	売上収益	6,755	13,543	200.5
	営業利益	△797	3,270	—
その他	売上収益	6,407	6,960	108.6
	営業利益	△1,342	△1,068	—
全社・消去	売上収益	△4,716	△3,996	—
	営業利益	193	△33	—
合計	売上収益	194,427	222,235	114.3
	営業利益	24,925	43,088	172.9

※ 従来「インダストリアルテープ」の内訳として、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」に分けて記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、「基盤機能材料」と「トランスポーターション」を統合し、「インダストリアルテープ」として記載しております。前第2四半期連結会計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(参考) セグメント別の状況 (年度予想)

(単位: 百万円 比率: %)

		当連結会計年度 (今回予想)	
		(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
		売上収益	前年同期比
インダストリアルテープ	売上収益	332,000	111.8
	営業利益	38,000	139.1
オプトロニクス	情報機能材料	362,000	97.1
	プリント回路	86,000	153.4
	計	448,000	104.5
	営業利益	87,000	107.8
ライフサイエンス	売上収益	53,000	177.5
	営業利益	10,000	—
その他	売上収益	27,000	116.0
	営業利益	△5,000	—
全社・消去	売上収益	△15,000	—
	営業利益	△4,000	—
合計	売上収益	845,000	111.0
	営業利益	126,000	134.3

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ資産合計は54,898百万円増加し、1,020,799百万円となり、負債合計は14,032百万円増加し、263,247百万円となりました。また、資本合計は40,866百万円増加し、757,552百万円となりました。この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末より増減なく74.1%となりました。

主な増減は資産では、現金及び現金同等物が19,621百万円増加、売上債権及びその他の債権が11,548百万円増加、棚卸資産が10,831百万円増加、その他の流動資産が4,046百万円増加、有形固定資産が8,937百万円増加、使用権資産が1,331百万円減少しました。負債では、仕入債務及びその他の債務が3,113百万円増加、未払法人所得税等が5,073百万円増加、その他の金融負債（流動）が2,041百万円減少、その他の流動負債が7,960百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、核酸受託製造におけるCOVID-19ワクチンに使用される核酸アジュバント（核酸免疫補強材）の需要拡大、プリント回路におけるハイエンドスマートフォン向け高精度基板及びハードディスクドライブ向けデータセンター用途の需要増加、電子機器に使用されるセラミックコンデンサーや半導体の生産における工程用部材の需要伸長により当初予想を上回る見通しです。また、為替レートが当初想定より円安で推移しており、収益の押し上げが見込まれます。

当第2四半期連結累計期間における業績やこのような状況などを勘案し、2022年3月期の連結業績予想を見直すことといたしました。なお、第3四半期以降の為替レートについては、1米ドル=107円を想定しております。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日から2022年3月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	785,000	105,000	105,000	75,000	75,000	506.87
今回修正予想 (B)	845,000	126,000	126,000	90,000	90,000	608.16
増減額 (B-A)	60,000	21,000	21,000	15,000	15,000	—
増減率 (%)	7.6	20.0	20.0	20.0	20.0	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	761,321	93,809	93,320	70,308	70,235	472.71

上記の業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	300,888	320,509
売上債権及びその他の債権	182,939	194,487
棚卸資産	107,668	118,499
その他の金融資産	1,399	1,337
その他の流動資産	17,121	21,167
流動資産合計	610,017	656,002
非流動資産		
有形固定資産	270,813	279,750
使用権資産	14,979	13,647
のれん	4,593	4,605
無形資産	13,620	13,629
持分法で会計処理されている投資	392	376
金融資産	10,856	11,765
繰延税金資産	25,951	26,336
その他の非流動資産	14,676	14,685
非流動資産合計	355,884	364,797
資産合計	965,901	1,020,799

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	100,790	103,903
社債及び借入金	545	209
未払法人所得税等	11,225	16,299
その他の金融負債	22,834	20,792
その他の流動負債	47,387	55,347
流動負債合計	182,783	196,552
非流動負債		
その他の金融負債	17,161	16,438
確定給付負債	46,754	47,712
繰延税金負債	347	269
その他の非流動負債	2,167	2,274
非流動負債合計	66,431	66,694
負債合計	249,214	263,247
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	26,783	26,783
資本剰余金	50,070	50,056
利益剰余金	635,916	673,259
自己株式	△10,039	△9,834
その他の資本の構成要素	13,136	16,437
親会社の所有者に帰属する持分合計	715,868	756,702
非支配持分	817	850
資本合計	716,686	757,552
負債及び資本合計	965,901	1,020,799

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	357,737	425,951
売上原価	247,228	273,837
売上総利益	110,509	152,114
販売費及び一般管理費	50,885	61,536
研究開発費	17,261	18,644
その他の収益	2,294	2,665
その他の費用	2,289	1,790
営業利益	42,367	72,808
金融収益	275	309
金融費用	838	504
持分法による投資損益 (△は損失)	16	34
税引前四半期利益	41,822	72,648
法人所得税費用	11,248	20,458
四半期利益	30,573	52,189
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	30,544	52,138
非支配持分	29	51
合計	30,573	52,189
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	204.73	352.32
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	204.59	352.14

(要約四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	30,573	52,189
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動額	244	385
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△2,491	3,005
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動額	△1	1
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△2	1
その他の包括利益合計	△2,251	3,394
四半期包括利益合計	28,322	55,584
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	28,292	55,532
非支配持分	29	52
合計	28,322	55,584

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2020年4月1日残高	26,783	50,271	643,521	△27,505	△3,624	689,446	757	690,204
四半期利益	—	—	30,544	—	—	30,544	29	30,573
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,251	△2,251	0	△2,251
四半期包括利益合計	—	—	30,544	—	△2,251	28,292	29	28,322
株式報酬取引	—	△200	—	—	△95	△296	—	△296
配当金	—	—	△15,391	—	—	△15,391	△22	△15,414
自己株式の変動	—	24	—	△32,929	—	△32,905	—	△32,905
所有者との取引額等 合計	—	△176	△15,391	△32,929	△95	△48,593	△22	△48,616
2020年9月30日残高	26,783	50,094	658,674	△60,435	△5,972	669,145	764	669,910

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素			
2021年4月1日残高	26,783	50,070	635,916	△10,039	13,136	715,868	817	716,686
四半期利益	—	—	52,138	—	—	52,138	51	52,189
その他の包括利益	—	—	—	—	3,393	3,393	1	3,394
四半期包括利益合計	—	—	52,138	—	3,393	55,532	52	55,584
株式報酬取引	—	△69	—	—	△92	△161	—	△161
配当金	—	—	△14,796	—	—	△14,796	△20	△14,816
自己株式の変動	—	55	—	204	—	259	—	259
所有者との取引額等 合計	—	△14	△14,796	204	△92	△14,698	△20	△14,718
2021年9月30日残高	26,783	50,056	673,259	△9,834	16,437	756,702	850	757,552

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	41,822	72,648
減価償却費及び償却費	23,796	24,458
減損損失	112	130
確定給付負債の増減額	1,286	1,009
売上債権及びその他の債権の増減額	△16,635	△10,075
棚卸資産の増減額	345	△10,178
仕入債務及びその他の債務の増減額	3,158	2,553
利息及び配当金の受入額	300	263
利息の支払額	△324	△278
法人税等の支払額又は還付額	△12,852	△15,859
その他	△381	772
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,627	65,442
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△30,107	△29,457
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	120	255
定期預金の増減額	802	181
投資有価証券の取得による支出	△322	△582
関係会社株式の取得による支出	△879	△109
その他	△6	981
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,392	△28,729
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	39	△337
リース負債の返済による支出	△2,744	△2,805
自己株式の増減額	△33,309	△0
配当金の支払額	△15,391	△14,796
その他	△23	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,430	△17,958
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	△448	867
現金及び現金同等物の増減額	△41,642	19,621
現金及び現金同等物の期首残高	304,922	300,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	263,280	320,509

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	131,278	203,715	11,871	10,412	357,279	458	357,737
セグメント間の売上収益	1,694	3,998	1,927	1,387	9,007	△9,007	—
セグメント売上収益合計	132,973	207,714	13,799	11,800	366,287	△8,549	357,737
営業利益(△は損失)	8,471	37,768	△1,315	△2,364	42,559	△191	42,367
金融収益							275
金融費用							△838
持分法による投資損益 (△は損失)							16
税引前四半期利益							41,822

(注) 第1四半期連結会計期間において、マネジメント体制の変更を行った結果、従来「インダストリアルテープ」に含まれていた「基盤機能材料」と「トランスポートーション」を統合しております。前第2四半期連結累計期間数値は、この変更を反映した数値を記載しております。

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料、自動車材料等)
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	インダ ストリアル テープ	オプトロ ニクス	ライフサ イエンス	その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益計 算書計上額
外部顧客からの売上収益	163,578	226,240	23,404	12,140	425,363	587	425,951
セグメント間の売上収益	1,445	3,733	2,040	1,857	9,077	△9,077	—
セグメント売上収益合計	165,023	229,973	25,444	13,998	434,440	△8,489	425,951
営業利益(△は損失)	20,866	48,087	6,384	△2,038	73,299	△490	72,808
金融収益							309
金融費用							△504
持分法による投資損益 (△は損失)							34
税引前四半期利益							72,648

(各セグメントの主要製品)

事業区分	主要製品
インダストリアルテープ	基盤機能材料(接合材料、保護材料、プロセス材料、自動車材料等)
オプトロニクス	情報機能材料、プリント回路
ライフサイエンス	医療関連材料
その他	高分子分離膜、その他製品

(重要な後発事象)

該当事項はありません。